

平成24年

都産技研の利用に関する調査

アウトカム 評価報告書



平成25年4月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、平成 18 年 4 月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化し、今年度は設立 8 年目を迎えます。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを生かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究などさまざまな事業を通じて、企業の皆さまに、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用いただいている企業の皆さまのより一層のお役に立てるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を、先般実施いたしました。今回は 3,322 名の皆様にアンケートを依頼し、1,696 名からご回答をいただきました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに活用させていただきます。

調査にご理解とご協力をいただきました企業の皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

平成 25 年 4 月
地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事長 片岡正俊

目 次

| | |
|-------------------------|----|
| 1. 調査の概要 | 1 |
| 1.1 調査目的 | 1 |
| 1.2 調査対象 | 1 |
| 1.3 調査方法 | 1 |
| 1.4 調査内容（調査用紙の項目） | 1 |
| 1.5 回収結果 | 1 |
| 2. 調査結果の集計 | 2 |
| 2.1 設問『利用のきっかけについて』 | 2 |
| 2.2 設問『情報提供について』 | 3 |
| 2.3 設問『事業の利用状況について』 | 3 |
| 2.3.1 設問『利用した事業の利用目的』 | 4 |
| 2.3.2 設問『利用した事業の目的達成度』 | 5 |
| 2.3.3 設問『利用した際の職員対応』 | 8 |
| 2.3.4 設問『都産技研利用による経済効果』 | 11 |
| 2.3.5 設問『他機関の利用状況』 | 15 |
| 2.4 設問『興味関心や要望について』 | 18 |
| 2.4.1 設問『都産技研への利用意向と要望』 | 18 |
| 2.4.2 設問『関心のある事業サービス分野』 | 21 |
| 3. 総括 | 24 |
| 3.1 利用者のご要望 | 24 |
| 3.2 今後の方向性について | 25 |
| 参考資料 平成24年ご利用に関するアンケート | 26 |

1. 調査の概要

1.1 調査目的

東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）の利用企業等における、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法に必要なデータを取得するために実施した。

1.2 調査対象

平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日までの間に、都産技研の各種事業を利用された企業等の社員の方で、個人情報利用に同意いただいた方 3,322 名を今回の調査対象とした。

1.3 調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者へ配布

回収方法：記入した調査用紙を郵送にて返送

期間：平成 25 年 2 月 8 日から平成 25 年 3 月 5 日まで

1.4 調査内容（調査用紙の項目）

- (1) 利用のきっかけについて
- (2) 情報提供について
- (3) 事業の利用状況について
 - 利用した事業の利用目的
 - 利用した事業の目的達成度
 - 利用した際の都産技研職員の対応
 - 都産技研を利用したことによる経済効果
 - 他機関の利用状況
- (4) 興味関心や要望について
 - 都産技研への利用意向と要望
 - 関心のある事業・サービス分野

1.5 回収結果

1,696 名の方から回答をいただいた。（回収率 51.1%）

2. 調査結果の集計

2.1 設問『利用のきっかけについて』

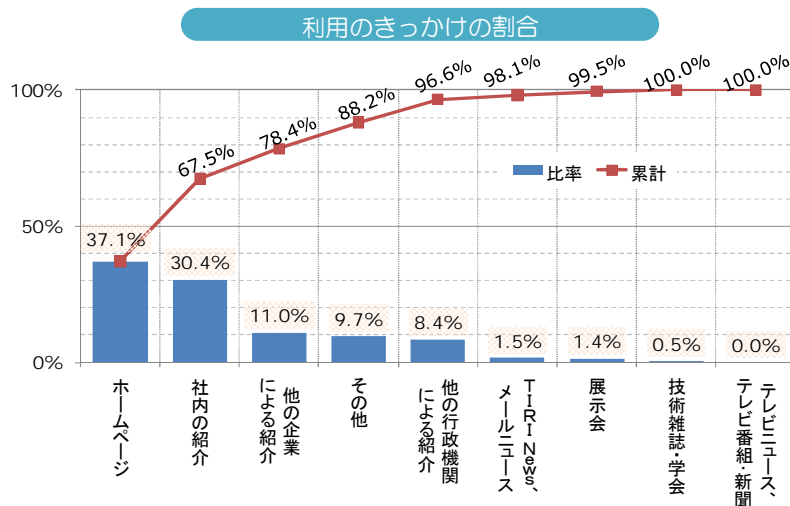
都産技研を利用したきっかけの設問では、1,623 件の有効回答をいただいた。結果は「ホームページ」が602件（37.1%）、「社内の紹介」が493件（30.4%）と多く、この2つで7割近い回答となっている。また「その他」への回答が158件あるが、その内容として「以前から利用していた（知っていた）ため」という旨の回答が、66件と多く存在していた。

| | | |
|----|------------------|------|
| 1 | ホームページ | 602 |
| 2 | 展示会 | 23 |
| 3 | TIRI News、メルニュース | 24 |
| 4 | 他の行政機関による紹介 | 137 |
| 5 | 他の企業による紹介 | 178 |
| 6 | 社内の紹介 | 493 |
| 7 | 技術雑誌・学会 | 8 |
| 8 | テレビ、テレビ番組、新聞 | 0 |
| 9 | その他 | 158 |
| 合計 | | 1623 |

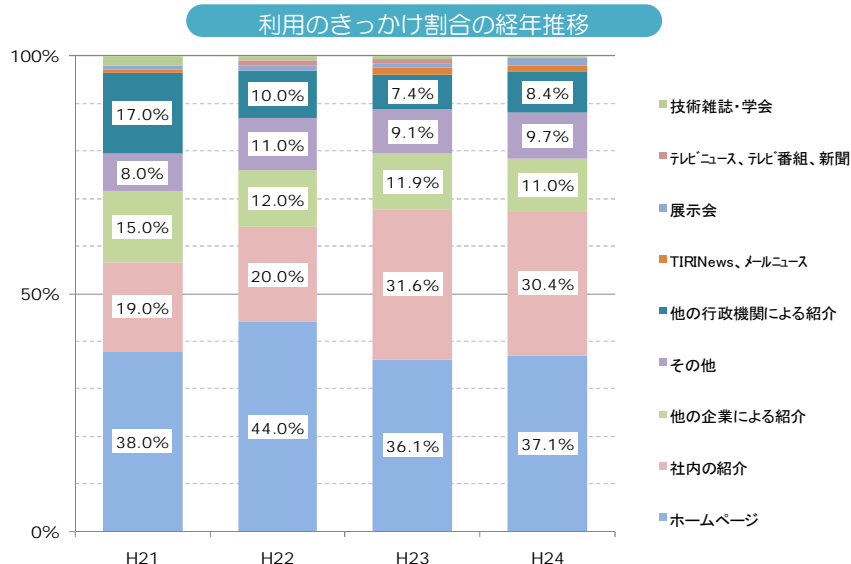
単位：件

例として・・・

- ・『以前から利用している』：66件
- ・『知人の紹介』：数件
- ・『商工会議所/建材試験場等-etc.からの紹介』：数件



なお、本設問の経年推移を見ると、平成24年結果は昨年（平成23年）結果とほぼ同じ傾向であったと言える。



2.2 設問『情報提供について』

都産技研のホームページやメールニュースに対して意見を伺った設問では、「特になし」や「見えていない」という旨の回答を除外すると、276件の有効回答（有効コメント）を頂いた。内容としては、「見やすい」「有意義である」「助かっている」といった肯定的な意見から、「もっと機器の詳細を掲示して欲しい」「どこに何をお願いできるのか分かりにくい」といった、要望に関する意見も見られた。

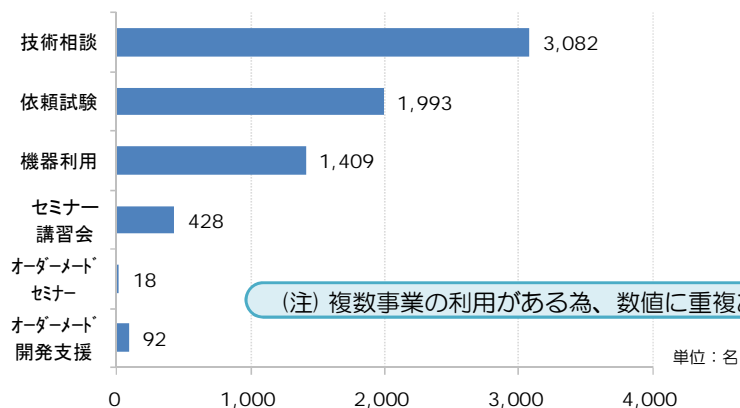
情報提供への要望コメント(一部抜粋)

- ✓ 設備機器の写真、機器に使用する治具等の写真をのせて欲しい。
- ✓ 全ての機器/設備の予約状況が確認できるようにしていただきたい。
- ✓ 利用機器一覧から探した先に、具体的な機器の情報があると助かります。
- ✓ 測定機等のメーカ型番で記載されていると、事前に使えるかどうかの判断ができる。
- ✓ 設備利用が主であるため費用のシミュレーションや見積がWeb上でできると良い。
- ✓ メールニュースで、新しく買った測定器を教えてください。
- ✓ 異業種交流会の活動状況をもっと詳しく掲載していただければと思います。
- ✓ 企業との産官学での成果発表をより広く、多く紹介していただきたい。経産省の製品安全表彰の取組と連動して中小企業を盛り上げてください。
- ✓ ホームページとメールニュースの関係をもっと分かりやすくしてほしい。例えば、メールニュースでセミナーや講演会の日程が知らされてもホームページでは詳細を確認しにくい。

2.3 設問『事業の利用状況について』

本アンケートの対象者である3,322名における、平成24年に利用した事業の内訳は、「技術相談」が3,082名、「依頼試験」が1,993名、「機器利用」が1,409名、「セミナー・講習会」が428名、「オーダーメイドセミナー」が18名、「オーダーメイド開発支援」が92名であった。

対象者3,322名の利用された事業内訳



2.3.1 設問『利用した事業の利用目的』

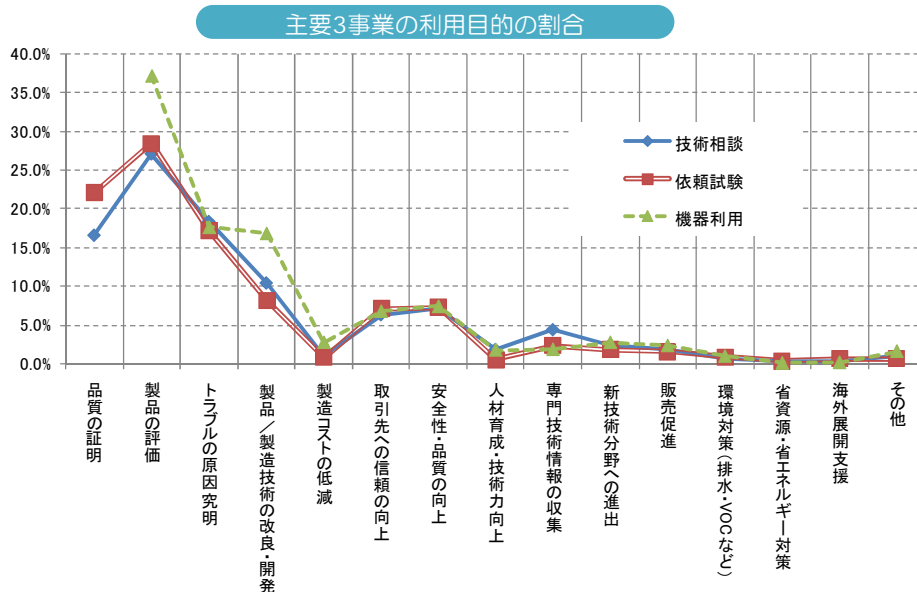
本設問では、「技術相談」「依頼試験」「機器利用」「セミナー・講習会」「オーダーメイドセミナー」「オーダーメイド開発支援」計6事業について、その利用目的を回答いただいた。それぞれの有効回答数を含め、結果は以下表の通りである。なお、「機器利用」「セミナー・講習会」「オーダーメイドセミナー」の3事業は、設問選択肢に「品質の証明」は含まれない。

| 都産技研 主要事業 | 技術 相談 | 依頼 試験 | 機器 利用 | セミナー 講習会 | オーダー メイド セミナー | オーダー メイド 開発 支援 |
|-------------------|----------|----------|----------|-------------|---------------------|-------------------------|
| 利用目的 (複数選択可) | | | | | | |
| 1 品質の証明 | 460 | 508 | | | | 4 |
| 2 製品の評価 | 751 | 655 | 462 | 45 | 2 | 10 |
| 3 トラブルの原因究明 | 509 | 397 | 219 | 33 | 1 | 5 |
| 4 製品/製造技術の改良・開発 | 289 | 189 | 209 | 52 | 2 | 17 |
| 5 製造コストの低減 | 29 | 18 | 34 | 10 | 0 | 5 |
| 6 取引先への信頼の向上 | 176 | 164 | 84 | 7 | 1 | 0 |
| 7 安全性・品質の向上 | 199 | 168 | 92 | 31 | 1 | 3 |
| 8 人材育成・技術力向上 | 51 | 13 | 22 | 55 | 1 | 1 |
| 9 専門技術情報の収集 | 122 | 53 | 23 | 96 | 1 | 4 |
| 10 新技術分野への進出 | 68 | 43 | 34 | 29 | 0 | 4 |
| 11 販売促進 | 52 | 37 | 29 | 16 | 1 | 3 |
| 12 環境対策(排水・VOCなど) | 19 | 21 | 12 | 7 | 0 | 0 |
| 13 省資源・省エネルギー対策 | 8 | 9 | 1 | 6 | 0 | 0 |
| 14 海外展開支援 | 10 | 15 | 2 | 6 | 0 | 0 |
| 15 その他 | 26 | 15 | 20 | 3 | 1 | 1 |
| 合計有効回答数 | 2769 | 2305 | 1243 | 396 | 11 | 57 |

単位：件

上記表の通り、「技術相談」「依頼試験」「機器利用」の3事業については「製品の評価」目的での利用が最も多く、「セミナー・講習会」では「専門技術情報の収集」、「オーダーメイド開発支援」では「製品/製造技術の改良開発」への回答が最も多い結果となった。

ここで、利用者数及び有効回答数の多い「技術相談」「依頼試験」「機器利用」の3事業に絞って有効回答数に対する回答割合を捉えると、「機器利用」のみ若干「製品/製造技術の改良開発」の割合が高いものの、概ね3事業ともほぼ同じような傾向であった。



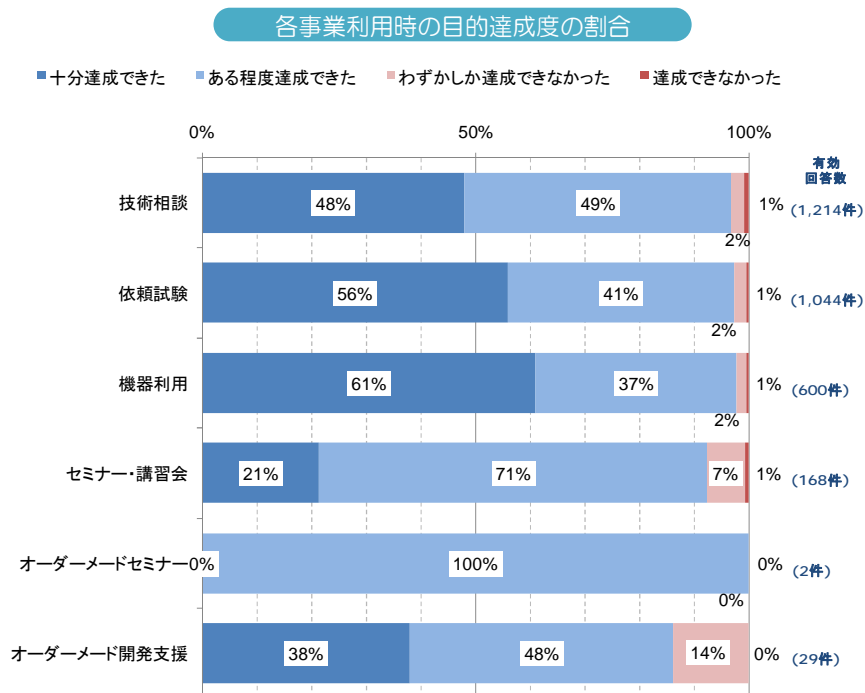
2.3.2 設問『利用した事業の目的達成度』

目的達成度の設問では、6事業において以下表の通り、有効回答をいただいた。

| 利用目的 (複数選択可) | 都産技研 主要事業 | | | | | |
|-----------------|--------------|------|------|-------------|-----------------|-----------------|
| | 技術相談 | 依頼試験 | 機器利用 | セミナー 講習会 | オーダーメイド セミナー | オーダーメイド 開発支援 |
| 1 十分達成できた | 582 | 583 | 366 | 36 | 0 | 11 |
| 2 ある程度達成できた | 593 | 432 | 220 | 119 | 2 | 14 |
| 3 わずかしか達成できなかった | 29 | 23 | 11 | 12 | 0 | 4 |
| 4 達成できなかった | 10 | 6 | 3 | 1 | 0 | 0 |
| 合計有効回答数 | 1214 | 1044 | 600 | 168 | 2 | 29 |

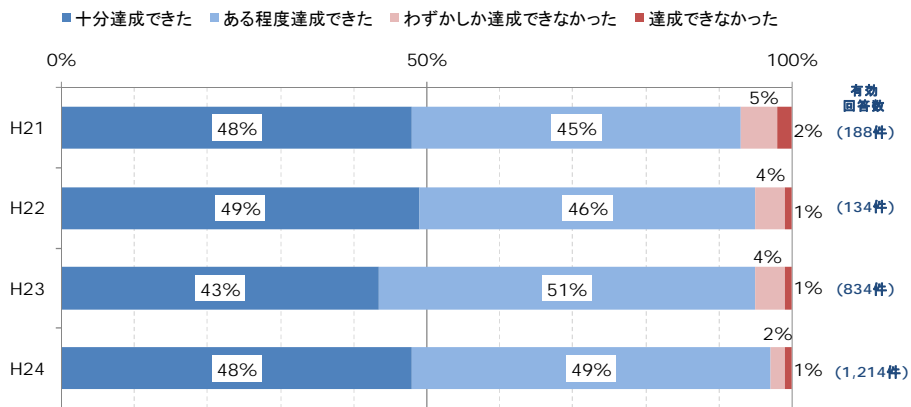
単位：件

有効回答数に差がある（技術相談では1,200件以上の回答数だが、オーダーメイドセミナーではわずか2件）ため、安易には同一視できないものの、6事業とも「十分達成できた」「ある程度達成できた」への合計割合が、85%と高い数値であった。

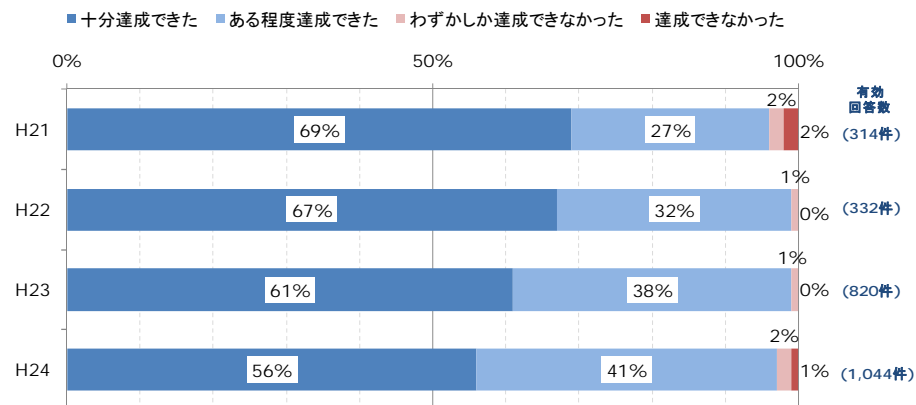


ここで、利用者数及び有効回答数の多い「技術相談」「依頼試験」「機器利用」の3事業に絞って、目的達成度の経年推移を見ると、「十分達成できた」「ある程度達成できた」への合計割合は、直近4年間で大きな変化は無いものの、「依頼試験」については、「十分達成できた」割合が年々減少し、「ある程度達成できた」割合が年々増えていると言える。

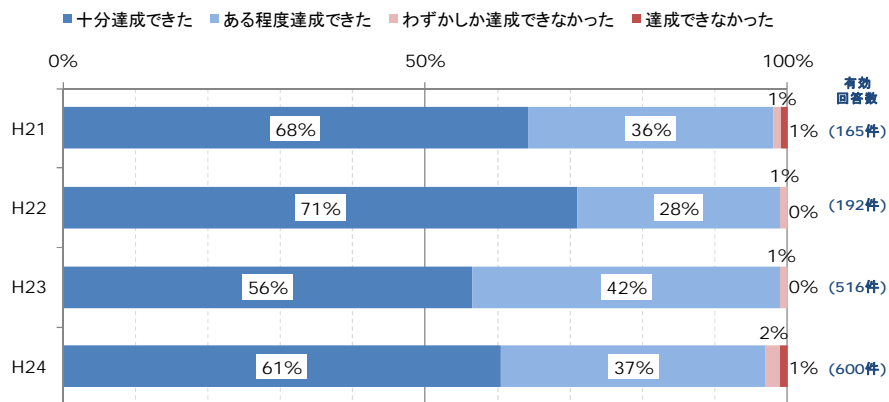
「技術相談」目的達成度の経年推移



「依頼試験」目的達成度の経年推移



「機器利用」目的達成度の経年推移



前述の通り達成度は総じて高いものの、少数意見ながら、達成度が低いと感じた利用者から、合計 112 件の“達成度が低い理由”の有効回答（有効コメント）をいただいた。多種多様な意見が見られたが、「想定していたものと違った/思った結果が得られなかった」という旨の回答が大半を占める中、一部「時間を要したため」という運用面での回答も見られた。

低達成度への理由コメント(一部抜粋)

- ✓ 分析条件をもっと考える必要があった。
- ✓ 原因を究明できなかった。
- ✓ 都産技研による証明書が発行されない（あくまで機器利用の証明だけ）ため。
- ✓ 測定できる計測器が無かったため。
- ✓ 3DのCADモデルの作成を2種類依頼したが、最後まで完成せずに終了した。
- ✓ 試料が良くなかったため、評価ができなかった。
- ✓ 期待していたレベルの結果が出なかった。
- ✓ 装置の検出能力の関係で、希望するデータがなかなかとれない。
- ✓ 予定された期間から数ヶ月以上の遅れが生じた。
- ✓ 依頼試験は納期に相当（1ヶ月以上）余裕がないと依頼できない。すぐに試験を依頼する場合は他機関を使用する。
- ✓ 知っている部分が多く、知りたかったことが意外と曖昧だった。

一方で、都産技研利用による具体的な成果を聞いたところ、合計 401 件の有効回答（有効コメント）を頂いた。こちらにも多種多様な意見を頂いたが、「原因追究や証明発行といった利用による直接的な効果」とともに、「開発や製品化等の次ステップに繋がった」という旨の回答も多く見られた。

都産技研利用による成果コメント(一部抜粋)

- ✓ トラブル原因を解明することができ、不具合を解消できた。
- ✓ 劣化した製品の元素分析やSEM観察を行い、原因を究明できました。
- ✓ 製品の改良案をいただき、その実行により販売につながった。
- ✓ 展示会に出展ができた。
- ✓ LEDの照度、光束、演色について相談し、LED照明製品を商品化しました。
- ✓ 弊社の製品の技術資料の裏付けがとれた。
- ✓ 損害賠償金額を交渉でき、最小限にできた。
- ✓ 検証結果をもとに製品化された。
- ✓ 製品の鑄造欠陥対策に活用している。
- ✓ 測定結果を元に資料を作成することでクライアントからの信用度が上がった。
- ✓ 現製品の性能の確認、他社との比較ができた。
- ✓ 企業秘密なので、言えません。すみません。

2.3.3 設問『利用した際の職員対応』

各事業を利用した際の職員への対応満足度では、以下の表の通り、有効回答をいただいた。

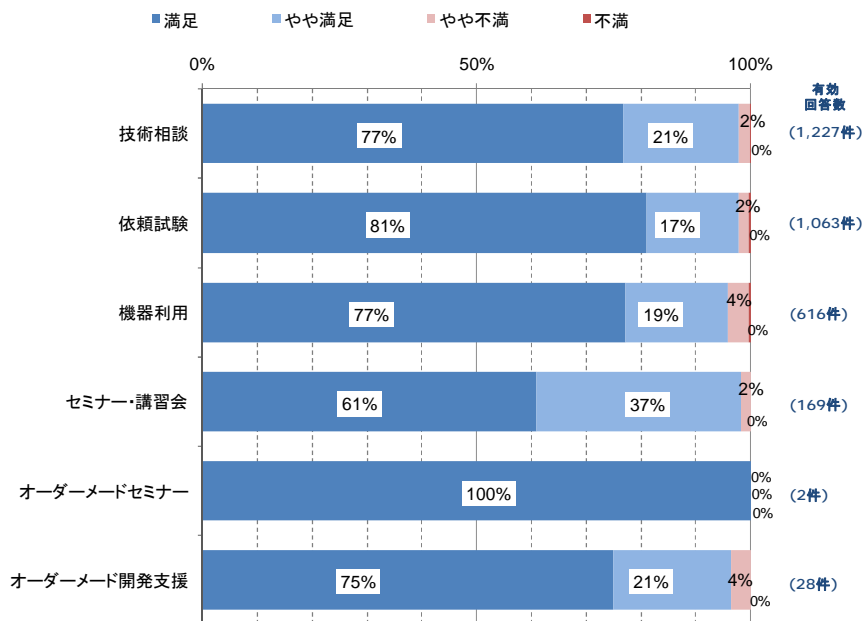
| 職員の対応 | | 都産技研 主要事業 | | | | | |
|---------|------|--------------|------|------|-------------|-----------------|-----------------|
| | | 技術相談 | 依頼試験 | 機器利用 | セミナー 講習会 | オーダーメイド セミナー | オーダーメイド 開発支援 |
| 1 | 満足 | 943 | 861 | 475 | 103 | 2 | 21 |
| 2 | やや満足 | 258 | 179 | 115 | 63 | 0 | 6 |
| 3 | やや不満 | 25 | 20 | 24 | 3 | 0 | 1 |
| 4 | 不満 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 合計有効回答数 | | 1227 | 1063 | 616 | 169 | 2 | 28 |

単位：件

上記表の通り、6事業全てにおいて、「満足」及び「やや満足」と回答しており、この2つの合計値割合は、全事業95%以上という結果であった。

(ただし、母数である有効回答数に、事業間で大きな差異があるため、一概には比較できない。)

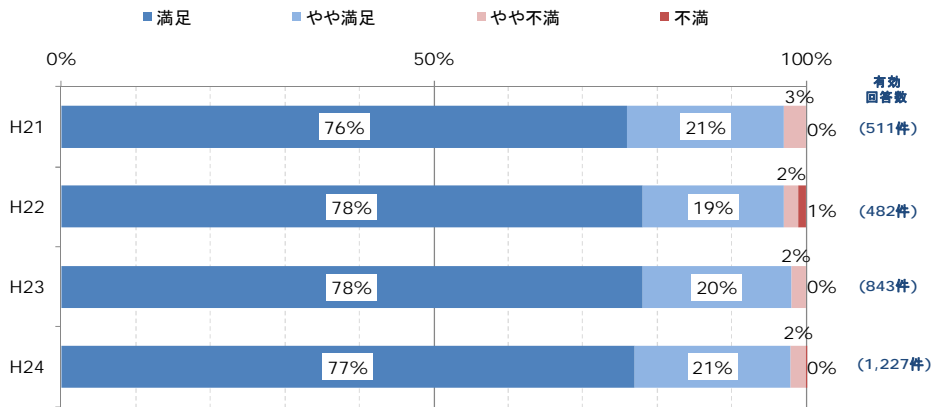
各事業利用時の職員対応満足度の割合



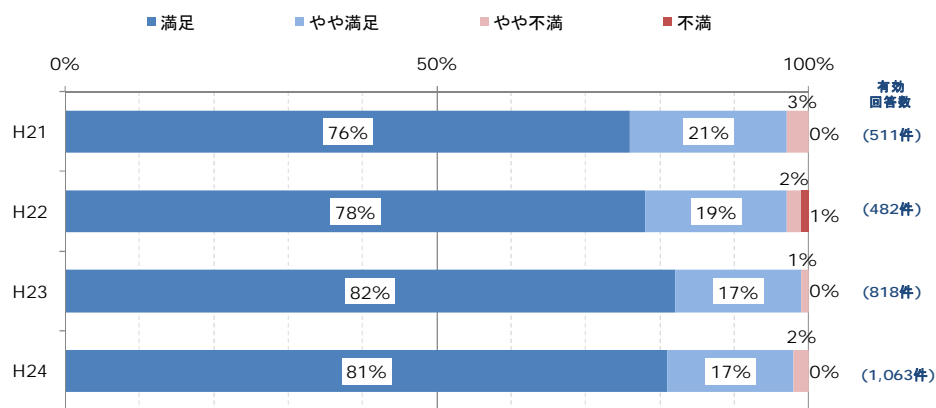
ここで目的達成度と同様に、「技術相談」「依頼試験」「機器利用」の3事業に絞って、職員対応満足度の経年推移を見ると、3事業とも直近4年間で大きな変化なく推移していることが分かる。

※注：平成21年及び22年のアウトカム調査では、職員満足度を事業毎ではなく対象者全員に聞いているため、全事業において母数となる有効回答数は同じである。

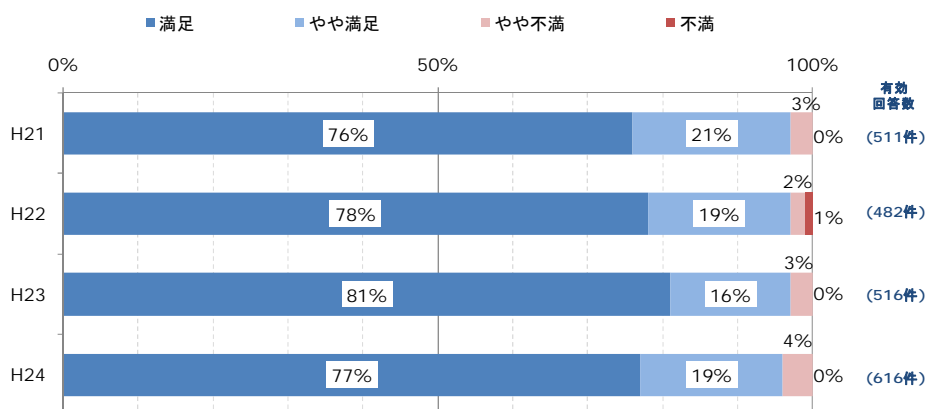
「技術相談」時の職員満足度の経年推移



「依頼試験」時の職員満足度の経年推移



「機器利用」時の職員満足度の経年推移



職員対応に関する自由意見を求めたところ、合計 551 件の有効回答（有効コメント）を頂いた。大半が「良かった」「親切に対応頂いた」といった好意的なコメントであったが、少数ながらも「対応が事務的であった」といった、否定的な意見も見られた。

職員対応への自由コメント(一部抜粋)

- ✓ 親切にご対応いただきました。
- ✓ 丁寧かつ親切に対応していただきました。
- ✓ 専門家がそろっており、どんな分野も対応していただける。できない場合でも他研究機関を紹介していただける。
- ✓ 試験に際しての準備不足な面をカバーしていただき満足しております。
- ✓ 当方で専門分野でないことも、わかりやすく説明していただけたので問題解決の時間を短縮することができた。
- ✓ 非常に豊富な知識を持った方が対応いただいたので安心だった。
- ✓ 技術相談においては対応する人によってスキルに差異があるように見受けま
す。
- ✓ 職員の一部の方は不誠実な対応をされる方がいます。特に急ぎの対応に
応じてくれないことが多いため、改善を希望します。
- ✓ 無愛想な人が多い。機器の取り扱い方の説明が不十分。

2.3.4 設問『都産技研利用による経済効果』

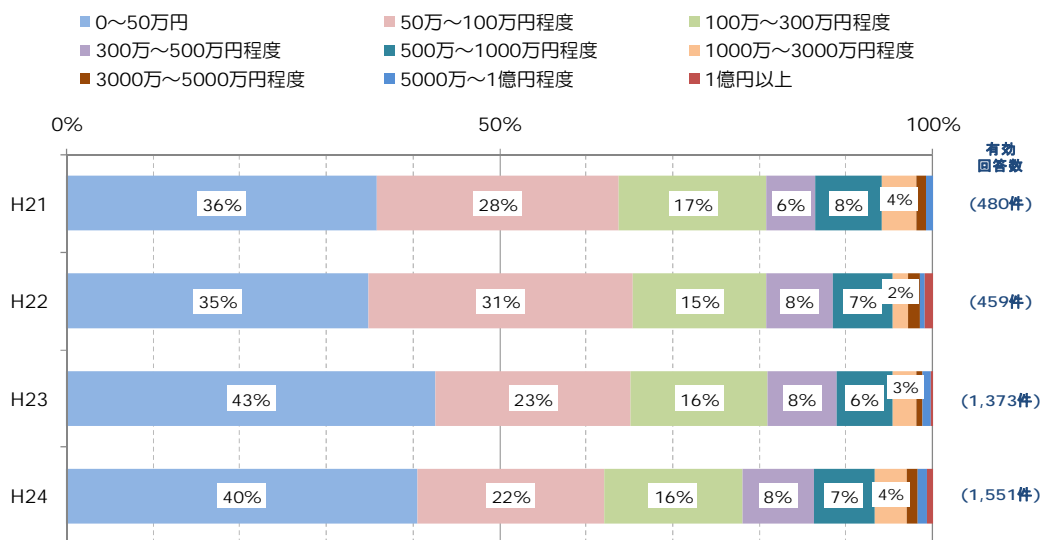
本設問では、都産技研を利用したことにより生み出された経済効果について尋ねている。なお、ここで言う経済効果とは、都産技研を利用することによって、企業等が得た効果を金額に換算した数値を示している。合計 1,551 件いただいた有効回答の内訳は以下の表の通りである。

| | 件数 | 比率 |
|--------------------|------|-------|
| 1 50万円以下 | 626 | 40.4% |
| 2 50万～100万円程度 | 338 | 21.8% |
| 3 100万～300万円程度 | 246 | 15.9% |
| 4 300万～500万円程度 | 128 | 8.3% |
| 5 500万～1,000万円程度 | 109 | 7.0% |
| 6 1,000万～3,000万円程度 | 57 | 3.7% |
| 7 3,000万～5,000万円程度 | 19 | 1.2% |
| 8 5,000万～1億円程度 | 19 | 1.2% |
| 9 1億円以上 | 9 | 0.6% |
| 合計 | 1551 | 100% |

上記表の通り「50 万円以下」への回答が最も件数が多く、金額が上がるにつれて、回答件数は減少傾向にある。

本設問の経年推移をみると、昨年や一昨年と比較して細かな差異はあるが、各項目の比率としては同じような傾向にあると言える。

都産技研利用による経済効果の経年推移



次に、一企業あたりの経済効果の金額換算額を、以下の試算によって算出した。

「50万円以下」への回答は25万円
 「50万～100万円」への回答は75万円
 「100万～300万円」への回答は200万円
 ……
 「1億円以上」への回答は1億円

として、全体の加重平均値を計る

| | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|------|------|------|--------|--------|--------|----|
| 金額(円) | 25万 | 75万 | 200万 | 400万 | 750万 | 2,000万 | 4,000万 | 7,500万 | 1億 |
| 回答件数 | 626 | 338 | 246 | 128 | 109 | 57 | 19 | 19 | 9 |

$$\begin{aligned}
 \text{経済効果総額} &= (25\text{万円} \times 626\text{件}) + (75\text{万円} \times 338\text{件}) + (200\text{万円} \times 246\text{件}) \\
 &\quad + (400\text{万円} \times 128\text{件}) + (750\text{万円} \times 109\text{件}) + (2,000\text{万円} \times 57\text{件}) \\
 &\quad + (4,000\text{万円} \times 19\text{件}) + (7,500\text{万円} \times 19\text{件}) + (1\text{億円} \times 9\text{件}) \\
 &= 64\text{億}5,650\text{万円}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{平均換算額} &= 64\text{億}5,650\text{万円} \div 1,551\text{件} \\
 &= \text{約}416\text{万円/企業}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{利用企業全体での経済効果金額} &= 416\text{万円} \times 8,515\text{社} \text{ (*注)} \\
 &= \text{約}354\text{億円}
 \end{aligned}$$

(*注) 平成24年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

一企業あたりの金額は約 416 万円となり、昨年結果 (321 万円/企業) よりも約 29.6%増加した。

また、都産技研を平成 24 年に利用した企業全体での経済効果金額の試算値 (推計) は、約 354 億円となり、昨年結果 (約 218 億円) よりも大きく上回る結果となった。

次に、その経済効果が何によって生まれたのかという理由を尋ねたところ、470件の有効回答（有効コメント）をいただいた。このコメントを3種類に分類し、それぞれの有効回答数を整理すると以下の表になる。

分類A 「現在コストの削減」

他機関を利用した場合と比べた差額や、自社で実施した際の調達コストや実施コスト（時間や人件費）の削減効果を金額換算している

分類B 「売上/利益の獲得」

都産技研を利用した結果として、製品の市場導入に繋がった/売上獲得につながった/新規販売ルートが作れた、等の理由を挙げている

分類C 「将来メリットの獲得」

不具合解析による信頼性確保や問題点の早期発見、今後の製造過程立案、新たな部材購入など、直接的には金額メリットとにならないが、将来的に発生するコスト削減や売上アップに寄与する理由を挙げている

| 分類 (内容から抽出) 経済効果額 | | A | B | C | 合計値 |
|-------------------------|------------------|----------|----------|-----------|-----|
| | | 現在コストの削減 | 売上/利益の獲得 | 将来メリットの獲得 | |
| 1 | 50万円以下 | 66 | 5 | 47 | 118 |
| 2 | 50万～100万円程度 | 68 | 16 | 17 | 101 |
| 3 | 100万～300万円程度 | 60 | 18 | 19 | 97 |
| 4 | 300万～500万円程度 | 22 | 15 | 12 | 49 |
| 5 | 500万～1,000万円程度 | 32 | 9 | 8 | 49 |
| 6 | 1,000万～3,000万円程度 | 11 | 13 | 6 | 30 |
| 7 | 3,000万～5,000万円程度 | 4 | 4 | 1 | 9 |
| 8 | 5,000万～1億円程度 | 4 | 6 | 1 | 11 |
| 9 | 1億円以上 | 0 | 2 | 4 | 6 |
| 合計値 | | 267 | 88 | 115 | 470 |

単位：件

分類A～Cそれぞれにおける一企業あたりの金額換算額を、以下の試算によって算出した。結果として、Aは一企業あたり約448万円、Bは約1,417万円、Cは約700万円であった。

分類A 「現在コストの削減」

$$\begin{aligned}
 \text{平均換算額} &= \{ (25\text{万円} \times 66\text{件}) + (75\text{万円} \times 68\text{件}) + (200\text{万円} \times 60\text{件}) \\
 &\quad + (400\text{万円} \times 22\text{件}) + (750\text{万円} \times 32\text{件}) + (2,000\text{万円} \times 11\text{件}) \\
 &\quad + (4,000\text{万円} \times 4\text{件}) + (7,500\text{万円} \times 4\text{件}) + (1\text{億円} \times 0\text{件}) \} \div 267\text{件} \\
 &= \text{約}448\text{万円/企業}
 \end{aligned}$$

分類B 「売上/利益の獲得」

$$\text{平均換算額} = \text{約}1,417\text{万円/企業}$$

分類C 「将来メリットの獲得」

$$\text{平均換算額} = \text{約}700\text{万円/企業}$$

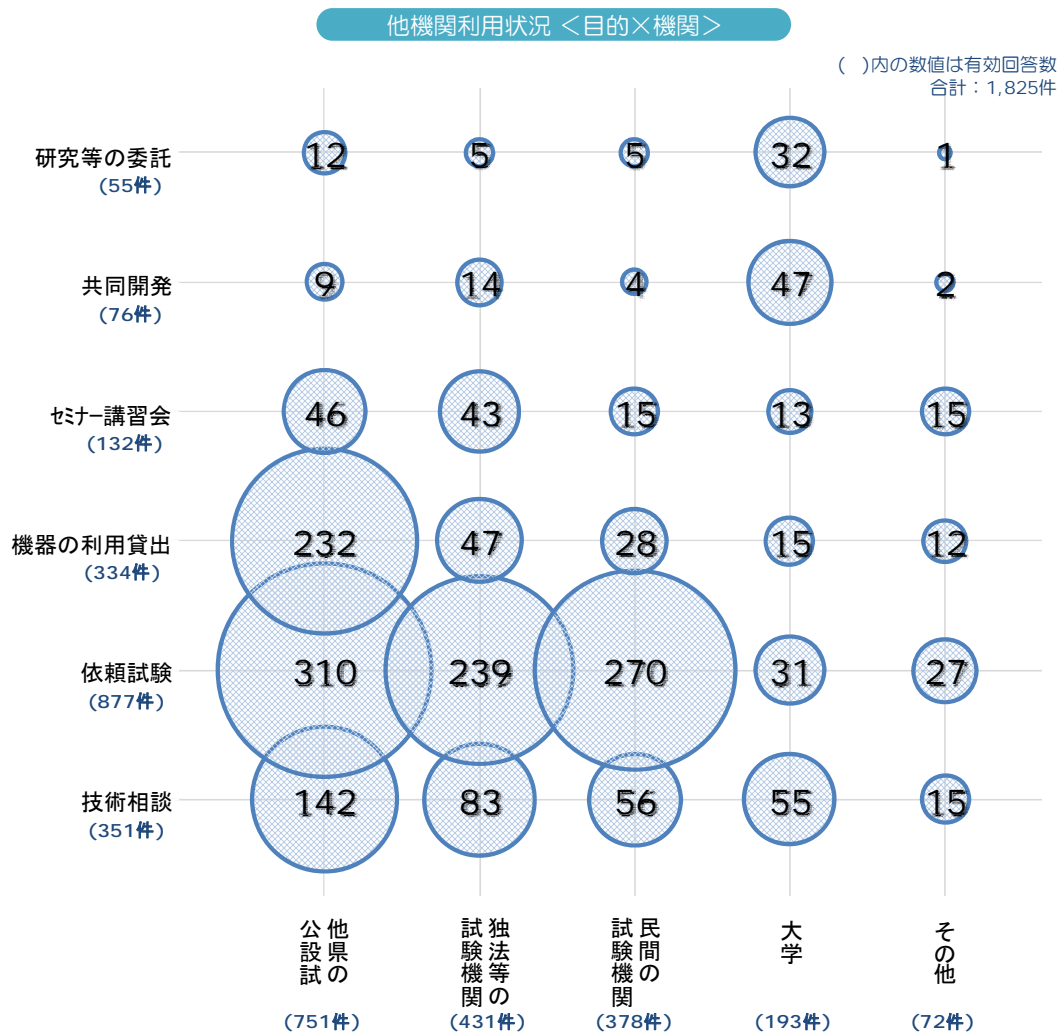
経済効果の理由コメント(一部抜粋)

- ✓ (分類A) 人工衛星の試験では15~20万円かかるところ、2万円で達成でき、予算節約できた。
- ✓ (分類A) 試験機器を利用でき、自社で設備投資した場合と比べて金額1000万円のコスト削減ができた。
- ✓ (分類A) 顧客からの製品不具合究明を求められ、民間での依頼より早くかつ費用が減額でき、約500万円位の研究費の削減につながったと考えます。
- ✓ (分類A) 非破壊検査の実施により、検査~評価の工数低減ができた。
- ✓ (分類B) 試作品をお客様に提示できたことにより、受注が増加した。
- ✓ (分類B) 製品評価により継続取引となり100万/年程度の売上げとなる。
- ✓ (分類B) 製品の販売期間が延びた。
- ✓ (分類C) 社内実験で予測していたものの、技術的「裏付」がとれた。
- ✓ (分類C) 依頼試験により、他社の材質、表面処理等の解明ができ、他社を凌駕した製品開発ができた。
- ✓ (分類C) 不具合品の原因究明により、客先の信頼をとりもどした。

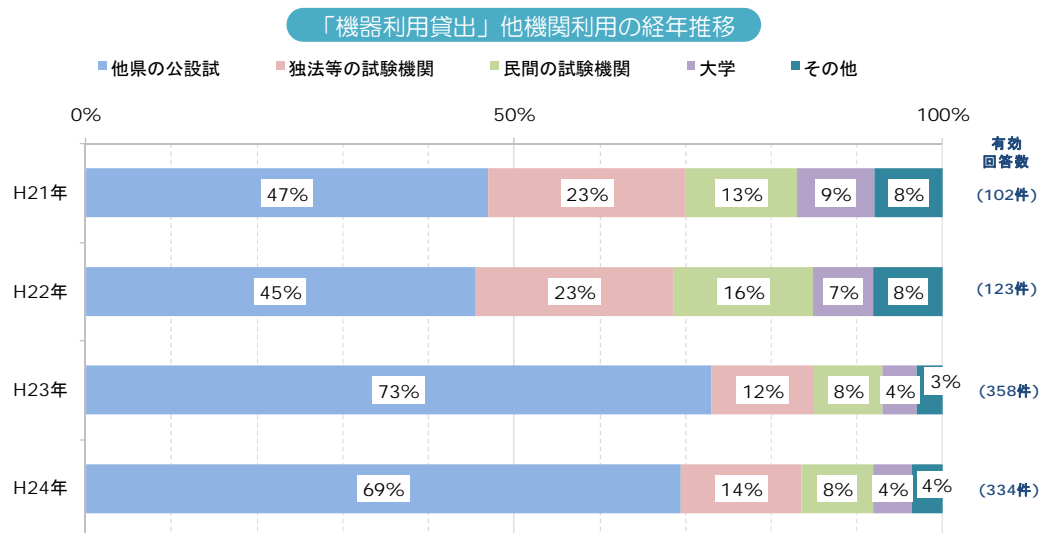
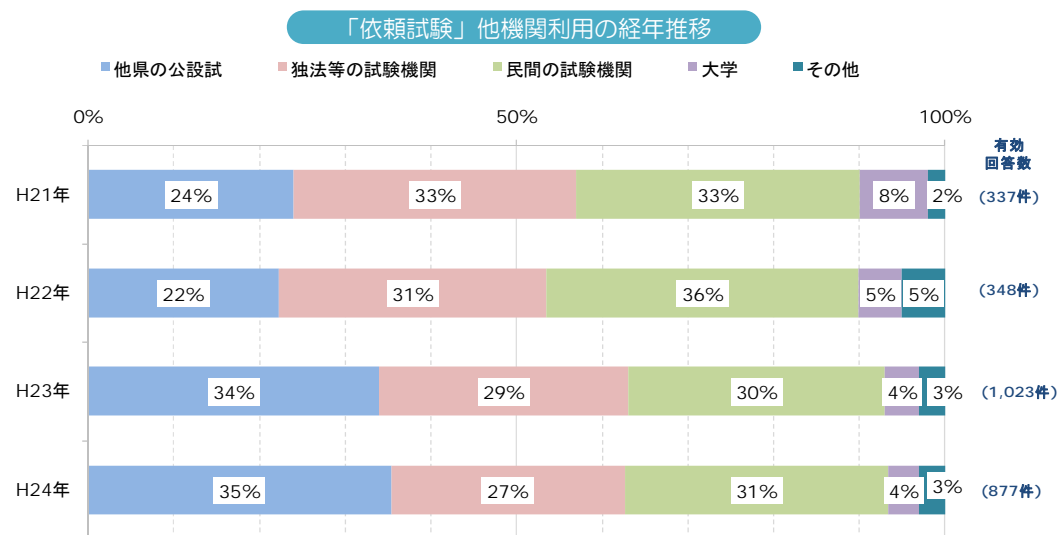
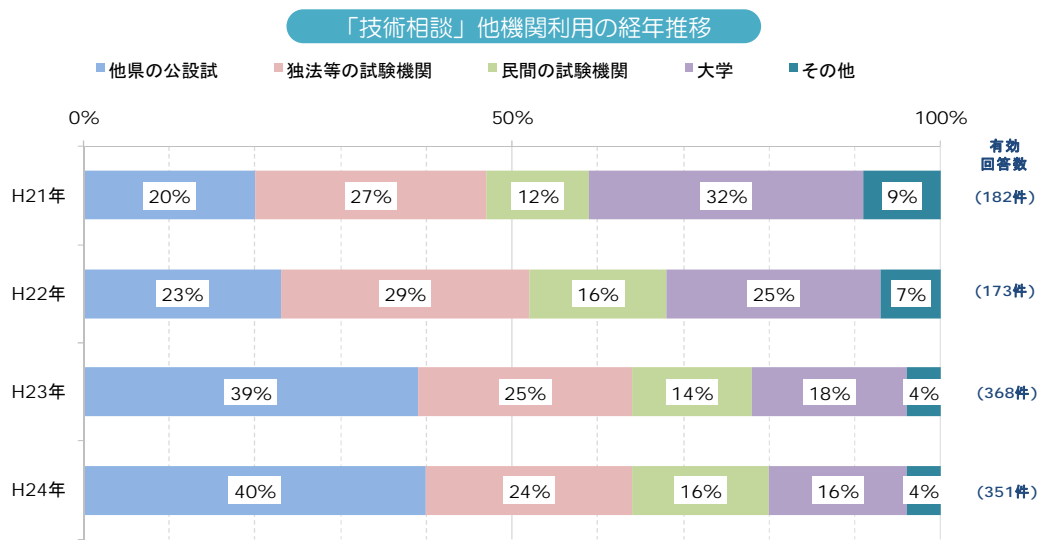
2.3.5 設問『他機関の利用状況』

他機関の利用有無に関する設問では、1,825 件の有効回答をいただいた。その結果、『目的別』で捉えると、「依頼試験」目的での他機関利用が 877 件と最も多く、「技術相談」（351 件）、「機器の利用貸出」（334 件）等を大きく引き離している。一方、『機関別』で捉えると、「他県の公設試験研究機関」の利用が 751 件と最も多く、「独立行政法人・財団法人等の試験機関」（431 件）、「民間の試験研究機関」（378 件）等を、大きく引き離していた。

両者のマトリクス表では、『依頼試験かつ他県の公設試験研究機関』が 310 件と最も多く、『依頼試験かつ民間の試験機関』（270 件）、『依頼試験かつ独法等の試験機関』（239 件）、『機器の利用貸出かつ他県の公設試』（232 件）と続いている。



ここで、「技術相談」「依頼試験」「機器利用貸出」の3つの目的に絞り、それぞれの他機関利用状況の割合について経年推移を見てみる。平成22年結果と平成23年結果（昨年結果）との間には差異が見られるが、今回の結果と昨年結果とでは、同じような傾向であったと言える。



他機関を利用する理由については、753件の有効回答（有効コメント）をいただいた。その主な内容としては「都産技研で扱っていない試験/機器のため」「専門分野であったため」「立地が近いため」「料金が安い」等に分類される。

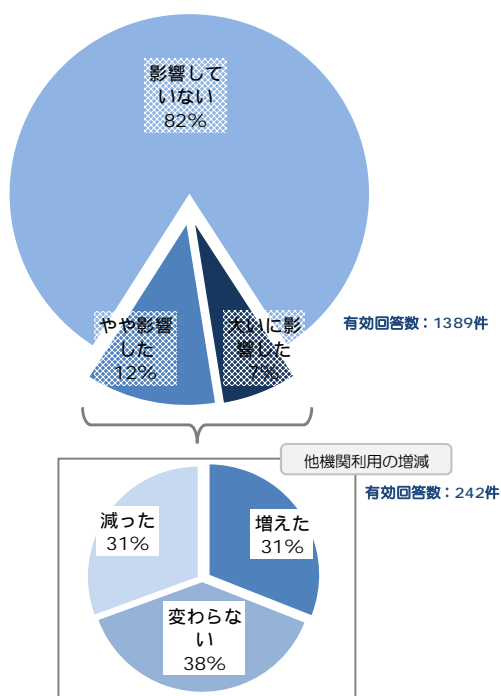
他機関利用の理由コメント(一部抜粋)

- ✓ 利用する機器が日程上合わなかったため。
- ✓ 所望の測定環境があったため。
- ✓ 試験機器、規格が合わない場合、どうしても外部への委託は避けられない。
- ✓ 表面処理技術に特化しているために利用している。
- ✓ 出身大学のため。従来から利用している。
- ✓ 困っている分野の専門の先生がおられたため。
- ✓ その施設でしか確認できない内容だった。
- ✓ 工場から距離が近いため。
- ✓ データベースが充実しており、近くて短納期。
- ✓ 機器開放として、安く利用できるため。
- ✓ 使用したい設備のスケジュールが合わず、その時は緊急を要していたため。

都産技研の事業所が移転したことによる影響については、有効回答数 1,389 件のうち、「影響していない」への回答が 1,136 件と 8 割以上を占めていた。

一方、少数ながら「やや影響した」「大いに影響した」に回答した利用者の中で、それが他機関利用に影響したかどうかについては、有効回答数 242 件のうち、「増えた」が 75 件（31%）、「減った」が 74 件（31%）、「変わらない」が 93 件（38%）という結果であった。

事業所移転による他機関利用への影響

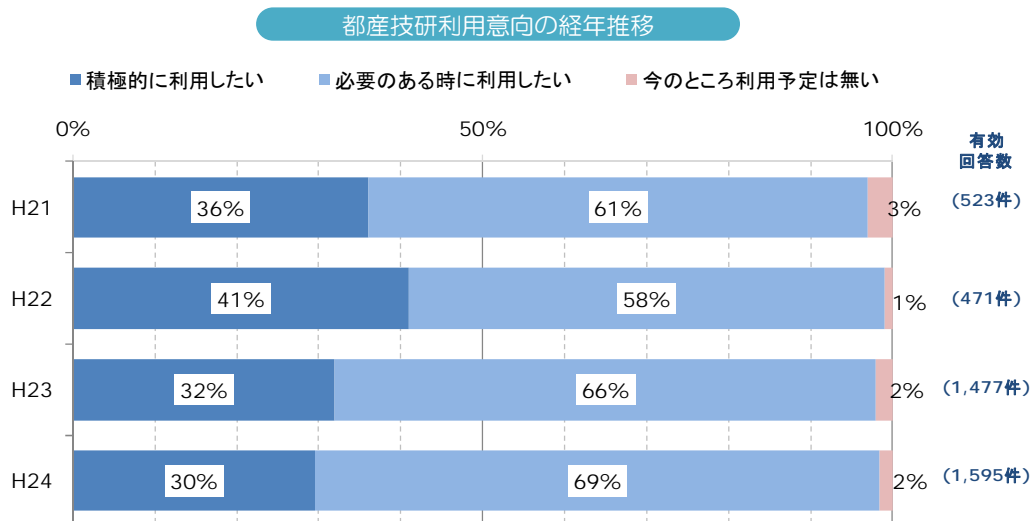


2.4 設問『興味関心や要望について』

2.4.1 設問『都産技研への利用意向と要望』

今後も都産技研を利用されるかどうかを尋ねたところ、1,595 件の有効回答のうち、「積極的に利用したい」への回答が 472 件（30%）、「必要のある時に利用したい」が 1,098 件（69%）、「今のところ利用予定はない」が 25 件（2%）という結果であった。

経年推移を見ると、若干ではあるが「積極的に利用したい」の回答割合が減少し、「必要のある時に利用したい」の割合が増加傾向にある。

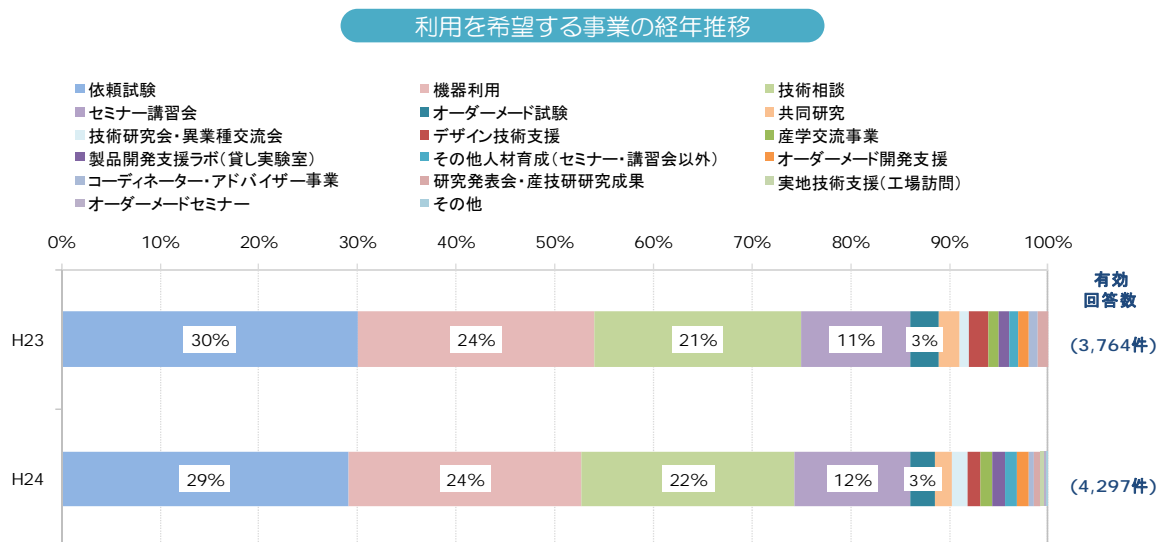


利用を希望する具体的な都産技研事業・サービスについては、4,297 件の有効回答をいただき、その内訳は以下の表の通りである。

| | 件数 | 比率 |
|-----------------------|------|------|
| 1 技術相談 | 928 | 22% |
| 2 依頼試験 | 1249 | 29% |
| 3 機器利用 | 1016 | 24% |
| 4 セミナー・講習会 | 502 | 12% |
| 5 その他人材育成（セミナー・講習会以外） | 53 | 1% |
| 6 オーダーメイド試験 | 110 | 3% |
| 7 オーダーメイドセミナー | 14 | 0% |
| 8 オーダーメイド開発支援 | 48 | 1% |
| 9 デザイン技術支援 | 56 | 1% |
| 10 コーディネーター・アドバイザー事業 | 24 | 1% |
| 11 実地技術支援（工場訪問） | 18 | 0% |
| 12 共同研究 | 73 | 2% |
| 13 研究成果発表会 | 25 | 1% |
| 14 技術研究会・異業種交流会 | 69 | 2% |
| 15 産学交流事業 | 54 | 1% |
| 16 製品開発支援ラボ（貸し実験室） | 54 | 1% |
| 17 その他 | 4 | 0% |
| 合計 | 4297 | 100% |

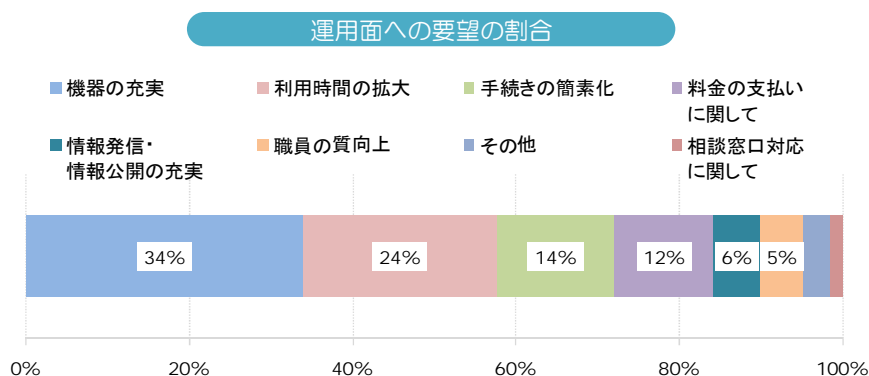
表の通り、「依頼試験」が1,249件（29%）で最も回答数が多く（29%）、「機器利用」が1,016件（24%）、「技術相談」が928件（22%）、「セミナー・講習会」（12%）と続いている。なお、この4つで有効回答数の85%以上を占める結果となっている。

ここで平成23年結果との推移を見てみると、利用を希望する都産技研事業・サービスでは、この一年間は同じ傾向であると言える。



また、都産技研の運用面での要望では、1,445件の有効回答のうち、「機器の充実」が490件（34%）と最も回答件数が多く、続いて「利用時間の拡大」（24%）、「手続きの簡素化」（14%）、「料金の支払いに関して」（12%）といった項目が並んでいる。

| | 件数 | 比率 |
|----------------|------|------|
| 1 手続きの簡素化 | 209 | 14% |
| 2 利用時間の拡大 | 342 | 24% |
| 3 機器の充実 | 490 | 34% |
| 4 職員の質向上 | 78 | 5% |
| 5 情報発信・情報公開の充実 | 82 | 6% |
| 6 料金の支払いに関して | 175 | 12% |
| 7 相談窓口対応に関して | 24 | 2% |
| 8 その他 | 45 | 3% |
| 合計 | 1445 | 100% |



運用面に対する自由意見では、361件の有効回答（有効コメント）をいただいた。「機器の拡充の具体例」、「都産技研事業（対応試験範囲）の改善」、「利用時間の拡大」、「料金の支払い方法」等、選択肢で尋ねている運用面要望の補足としての内容が見られた。

運用に関する要望コメント(一部抜粋)

- ✓ 先約者がいる場合、機器利用に数日待つ場合がある。利用頻度の高い機器は複数台あると助かります。
- ✓ 熱拡散率測定装置の種類を増やして欲しい。
- ✓ 射出成形機が利用できるようになると嬉しいです。
- ✓ 大型の振動試験機を設備していただければ幸いです。
- ✓ 各事業所での設備の差が無くなればもっと利用しやすくなる。青海はやや遠い。
- ✓ 先日、光量子の測定について相談させていただきましたが、結果として測定器がありませんでした。この手の測定にも幅を広げて頂けると助かります。
- ✓ 依頼試験の納期回答を早くして欲しい。
- ✓ 利用時間を19時程度まで延ばしていただけると助かります。
- ✓ 前払いと17:30規制を無くす又は拡大して欲しい
- ✓ 支払いは前払いではなく、実施後の後日振り込みができる形にして欲しい。
- ✓ 支払いを月末締め、翌月払いの形にはできないか。
- ✓ 利用料金の支払いを売掛の形にして貰えると、もっと利用しやすくなる。

2.4.2 設問『関心のある事業サービス分野』

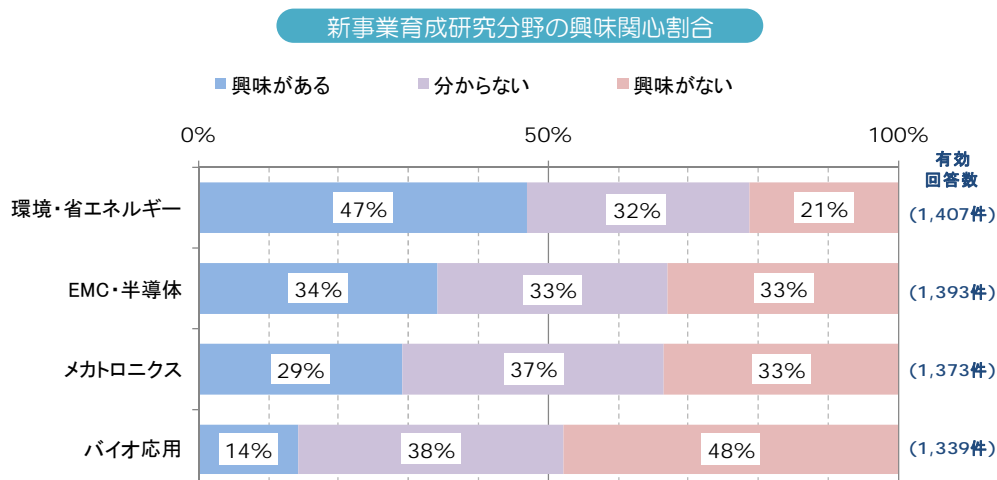
本設問では、都産技研の15の事業・サービス分野への興味関心有無を尋ねている。それぞれの分野に対する有効回答数は、以下の表の通りである。

| 事業サービス分野 | | 興味・関心 | | | 合計有効回答数 |
|----------|--------------|-------|-------|-------|---------|
| | | 興味がある | 分からない | 興味がない | |
| 1 | 環境省エネルギー | 662 | 446 | 299 | 1407 |
| 2 | EMC・半導体 | 475 | 460 | 458 | 1393 |
| 3 | メカトロニクス | 400 | 514 | 459 | 1373 |
| 4 | バイオ応用 | 190 | 509 | 640 | 1339 |
| 5 | 海外展開支援 | 439 | 505 | 424 | 1368 |
| 6 | 高度分析開発セクター | 777 | 408 | 221 | 1406 |
| 7 | システムデザインセクター | 350 | 580 | 435 | 1365 |
| 8 | 実証実験セクター | 1187 | 202 | 95 | 1484 |
| 9 | 音響試験 | 255 | 483 | 616 | 1354 |
| 10 | 照明試験 | 343 | 445 | 571 | 1359 |
| 11 | 高電圧試験 | 279 | 466 | 604 | 1349 |
| 12 | 非破壊透視試験 | 750 | 361 | 292 | 1403 |
| 13 | ガラス技術 | 207 | 497 | 647 | 1351 |
| 14 | 環境防カビ試験 | 218 | 475 | 658 | 1351 |
| 15 | 放射線測定 | 229 | 521 | 600 | 1350 |

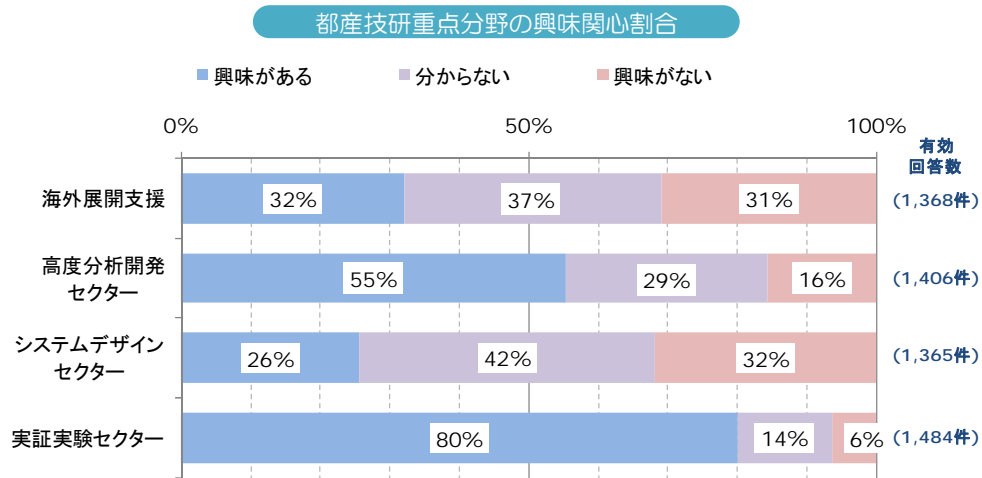
単位：件

ここで、各事業・サービス分野を「新事業育成研究分野」「都産技研重点分野」「ブランド試験」とカテゴリ分けした際に、それぞれの分野ごとの興味関心度の割合を確認してみる。

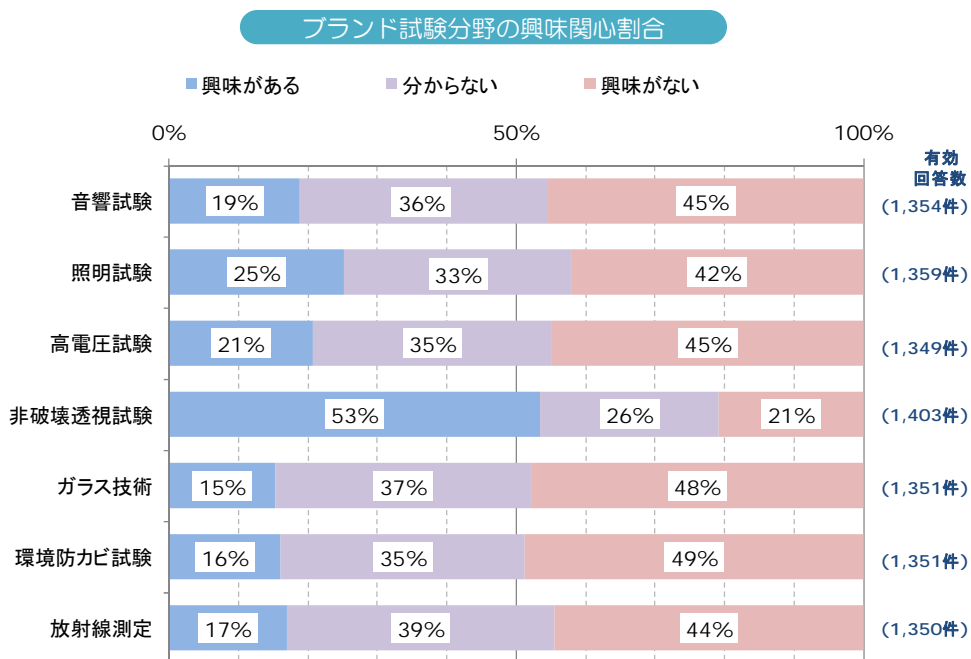
「新事業育成研究分野」の4分野においては、「環境・省エネルギー」に対して「興味がある」と回答した割合が47%と一番高い結果となった。



「都産技研重点分野」の4分野では、「実証実験セクター」に「興味がある」と回答した割合が80%と非常に高く、また「高度分析開発セクター」も55%という高い結果であった。



「ブランド試験」の7分野では、「非破壊透視試験」に対して「興味がある」と回答した割合が53%と、この中では一番高い結果であった。



3. 総括

本調査では数多くのご意見・ご要望をいただきました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、都産技研の課題を明確にした上で事業運営に反映させていきたいと考えています。以下では、課題を構造的に捉え、今後の方向性についてまとめた内容をご報告いたします。

3.1 利用者のご要望

本調査における自由意見から、利用者の皆さまのご要望を分類し、都産技研として対応すべきテーマ・課題を以下の表にまとめました。

| テーマ（大） | テーマ（小） | コメント例示（一部抜粋） |
|---------------------|------------|---|
| 事業サービスの拡充に関する事 | 機器の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 大電流試験機 20,000A まで使用可能だと良い。 恒温槽等環境試験用の機械が少なく感じます。 蛍光 X 線分析、発光分光分析の機器利用。 3D プリンター設備の充実。 |
| | 分野の拡大 | <ul style="list-style-type: none"> 燃焼試験に対応して欲しい。 医療機器の規格に対応して欲しい。 大型の振動試験ができるようにして欲しい。 |
| | 利用時間の拡大 | <ul style="list-style-type: none"> 利用時間を 18~20 時程度までにして欲しい。 終了時間が早いので、週 1 日くらいは 2 時間程度延長して欲しい。 土日祝日に対応して欲しい。 |
| 既存事業サービスの効果的提供に関する事 | 納期（予約時間含む） | <ul style="list-style-type: none"> 依頼試験の納期がもっと短くなればと思います。 予約から測定日までの日数が空きすぎる。 相談から試験に入るまでに時間がかかった。もう少しスピーディーに対応頂けたらと思う。 機器予約の当日利用（午後利用）を可能にして欲しい。 |
| | 支払い方法 | <ul style="list-style-type: none"> 請求書を受領してからの後払いに対応して欲しい。 見積書と請求書を頂いてからの後日振込（取引口座）だと利便性が良いのですが。 他機関では月末締め、翌月末振り込みに対応しています。 支払いが不便。利用回数等に応じて支払い条件を変えて欲しい。 |
| | 職員の能力 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の操作に不安のある職員がいるようです。手間取って時間をロスしました。 専門知識がないとこちらが理解できない時がある。イメージを掴む為にも図などにして説明頂きたい。 人によっては対応の悪い方もいらっしゃいますので改善を希望します。 |
| | 料金体系 | <ul style="list-style-type: none"> 料金の低減を希望します。 1 検体いくらの価格体系を、一式にでもできるようにして欲しい。 塗装の耐候性試験を依頼する場合、単独だと非常に高くなる場合がある。 |
| | 情報授受・やり取り | <ul style="list-style-type: none"> データの受け渡しを E メール経由かクラウド型の収容方法にして欲しい。 結果書類や部材等の郵送対応。 |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> 都産技研に出向かなくとも、依頼できるような仕組みがあると助かります。 もう少し手続きを簡素化していただきたい。 |

3.2 今後の方向性について

「事業サービスの拡充に関すること」に関しては、以前からご要望の多い「機器の充実」に今後も積極的に対応していきます。アンケート結果を踏まえて、需要の高い分野にかかる新機種の導入を行う等、引き続きサービスの強化を進めてまいります。

また、昨年度ご要望のありました国際規格へ対応するため、今年度は「広域首都圏輸出製品技術支援センター」(MTEP)を新たに開設し、中小企業の海外展開支援サービスを開始いたしました。多くの皆さまにご活用いただけるよう様々な支援を展開していく予定です。

そのほか、都産技研で対応している試験や保有機器の情報等についても、利用者の皆さまのお役に立てるよう今後も情報提供に努めてまいります。

「既存事業サービスの効果的提供に関すること」に関しては、「納期」及び「支払い方法」に関するご要望が多くありました。

今年度は、ホームページで予約状況を確認できる機器を拡大し、一部の機器についてはインターネット経由での予約申し込みを開始いたしました。納期の短縮等の課題についても、職員の技術力の向上を含め、改善に向け検討いたします。

今後も手続きの簡略化を進め、皆さまのご要望に応えられるよう努めてまいります。

参考資料

「平成 24 年ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3.(1)「ご利用の目的、達成度、職員対応等に関して」(P.28～P.33)では、各種事業を利用された方のみを対象に、アンケート用紙を印刷/送付しております。

(例：平成 24 年に技術相談と依頼試験を利用された方には、P.28 と P.29 を印刷/送付し、P.30 から P.33 のページは印刷/送付していない。)

《平成 24 年ご利用に関するアンケート》

アンケートに対する回答には、選択肢回答と自由記入回答があります。

選択肢がある設問では、該当する回答の 部にチェック（し点など）を記入してください。

1. 都産技研のご利用のきっかけについてお伺いします。

(1) ご利用のきっかけは、次のうちどれですか。

| | | | |
|---------------------|---|--------------------------|-------------------|
| 利用のきっかけ 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | ホームページ |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | 展示会（ ） |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | TIRI NEWS、メールニュース |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 他の行政機関による紹介 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> | 他の企業による紹介 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> | 自社（自校）の方からの紹介 |
| | 7 | <input type="checkbox"/> | 技術雑誌・学会（会誌等） |
| | 8 | <input type="checkbox"/> | テレビニュース、テレビ番組、新聞 |
| | 9 | <input type="checkbox"/> | その他（ ） |

2. 情報提供についてお伺いします。

(1) ホームページ及びメールニュースに関してお答えください。

都産技研のホームページ ⇒⇒ <http://www.iri-tokyo.jp>

また、都産技研ではメールニュース（※）を随時配信しています。

※：内容は講習会・技術セミナー等の募集、研究成果発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報 など

(A) ホームページ及びメールニュースについてご意見などがありましたら、お聞かせください。

| |
|--|
| |
|--|

(B) メールニュースの配信を希望される方は配信先メールアドレスをご記入ください。

| | |
|------------|--|
| 配信先メールアドレス | |
|------------|--|

3. 産技研の利用実態についてお伺いします。

(1) ご利用の目的、達成度、職員対応等に関してお答えください。

ご利用事業（サービス）：**技術相談**

| | | | |
|--|----|--------------------------|----------------------|
| 技術相談 の目的 【複数選択可】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 品質の証明（成績証明書取得の事前相談等） |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | 製品の評価 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | トラブルの原因究明 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 製品／製造技術の改良・開発 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> | 製造コストの低減 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> | 取引先への信頼の向上 |
| | 7 | <input type="checkbox"/> | 安全性・品質の向上 |
| | 8 | <input type="checkbox"/> | 人材育成・技術力向上 |
| | 9 | <input type="checkbox"/> | 専門技術情報の収集 |
| | 10 | <input type="checkbox"/> | 新技術分野への進出 |
| | 11 | <input type="checkbox"/> | 販売促進 |
| | 12 | <input type="checkbox"/> | 環境対策（排水・VOC など） |
| | 13 | <input type="checkbox"/> | 省資源・省エネルギー対策 |
| | 14 | <input type="checkbox"/> | 海外展開支援 |
| | 15 | <input type="checkbox"/> | その他（ ） |
| 技術相談 の目的達成度 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 十分達成できた |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | ある程度達成できた |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | わずかしか達成できなかった |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 達成できなかった |
| 達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 | | | |
| また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。 | | | |
| 技術相談時の 職員の対応 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 満足 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | やや満足 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | やや不満 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 不満 |
| 本サービスでの職員の対応について、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。 | | | |

ご利用事業（サービス）： **依頼試験**

| | | | |
|--|----|--------------------------|-----------------|
| 依頼試験 の利用目的 【複数選択可】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 品質の証明（成績証明書の取得） |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | 製品の評価 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | トラブルの原因究明 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 製品／製造技術の改良・開発 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> | 製造コストの低減 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> | 取引先への信頼の向上 |
| | 7 | <input type="checkbox"/> | 安全性・品質の向上 |
| | 8 | <input type="checkbox"/> | 人材育成・技術力向上 |
| | 9 | <input type="checkbox"/> | 専門技術情報の収集 |
| | 10 | <input type="checkbox"/> | 新技術分野への進出 |
| | 11 | <input type="checkbox"/> | 販売促進 |
| | 12 | <input type="checkbox"/> | 環境対策（排水・VOC など） |
| | 13 | <input type="checkbox"/> | 省資源・省エネルギー対策 |
| | 14 | <input type="checkbox"/> | 海外展開支援 |
| | 15 | <input type="checkbox"/> | その他（) |
| 依頼試験 の目的達成度 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 十分達成できた |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | ある程度達成できた |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | わずかしか達成できなかった |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 達成できなかった |
| 達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 | | | |
| また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。 | | | |
| 依頼試験時の 職員の対応 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 満足 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | やや満足 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | やや不満 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 不満 |
| 本サービスでの職員の対応について、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。 | | | |

ご利用事業（サービス）：**機器利用**

| | | | |
|--|----|--------------------------|-----------------------------|
| 機器利用 の目的 【複数選択可】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 製品の評価 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | トラブルの原因究明 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | 製品／製造技術の改良・開発 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 製造コストの低減 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> | 取引先への信頼の向上 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> | 安全性・品質の向上 |
| | 7 | <input type="checkbox"/> | 人材育成・技術力向上 |
| | 8 | <input type="checkbox"/> | 専門技術情報の収集 |
| | 9 | <input type="checkbox"/> | 新技術分野への進出 |
| | 10 | <input type="checkbox"/> | 販売促進 |
| | 11 | <input type="checkbox"/> | 環境対策（排水・VOC など） |
| | 12 | <input type="checkbox"/> | 省資源・省エネルギー対策 |
| | 13 | <input type="checkbox"/> | 海外展開支援 |
| | 14 | <input type="checkbox"/> | その他（ ） |
| 機器利用 の目的達成度 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 十分達成できた |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | ある程度達成できた |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | わずかしか達成できなかった |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 達成できなかった |
| 達成度が低いと感じた場合 （3又は4を選択した場合）、 その理由をお聞かせください。 | | | |
| また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。 | | | |
| 機器利用時の 職員の対応 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 満足 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | やや満足 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | やや不満 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 不満 |
| 本サービスでの職員の対応につい て、ご意見・ご要望などございま したら、お聞かせください。 | | | |

ご利用事業（サービス）：講習会・技術セミナー

| | | | |
|--|----|--------------------------|-----------------|
| 講習会・技術セミナー の参加目的 【複数選択可】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 製品の評価 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | トラブルの原因究明 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | 製品／製造技術の改良・開発 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 製造コストの低減 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> | 取引先への信頼の向上 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> | 安全性・品質の向上 |
| | 7 | <input type="checkbox"/> | 人材育成・技術力向上 |
| | 8 | <input type="checkbox"/> | 専門技術情報の収集 |
| | 9 | <input type="checkbox"/> | 新技術分野への進出 |
| | 10 | <input type="checkbox"/> | 販売促進 |
| | 11 | <input type="checkbox"/> | 環境対策（排水・VOC など） |
| | 12 | <input type="checkbox"/> | 省資源・省エネルギー対策 |
| | 13 | <input type="checkbox"/> | 海外展開支援 |
| | 14 | <input type="checkbox"/> | その他（ ） |
| 講習会・技術セミナー の目的達成度 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 十分達成できた |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | ある程度達成できた |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | わずかしか達成できなかった |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 達成できなかった |
| 達成度が低いと感じた場合 （3又は4を選択した場合）、 その理由をお聞かせください。 | | | |
| また、具体的な成果（派生を含めて、 製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。 | | | |
| 講習会・技術セミナー 時の職員の対応 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 満足 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | やや満足 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | やや不満 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 不満 |
| 本サービスでの職員の対応について、 ご意見・ご要望などございましたら、 お聞かせください。 | | | |

ご利用事業（サービス）：**オーダーメイドセミナー**










| | | | |
|--|----|--------------------------|-----------------|
| オーダーメイドセミナー の参加目的 【複数選択可】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 製品の評価 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | トラブルの原因究明 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | 製品／製造技術の改良・開発 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 製造コストの低減 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> | 取引先への信頼の向上 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> | 安全性・品質の向上 |
| | 7 | <input type="checkbox"/> | 人材育成・技術力向上 |
| | 8 | <input type="checkbox"/> | 専門技術情報の収集 |
| | 9 | <input type="checkbox"/> | 新技術分野への進出 |
| | 10 | <input type="checkbox"/> | 販売促進 |
| | 11 | <input type="checkbox"/> | 環境対策（排水・VOC など） |
| | 12 | <input type="checkbox"/> | 省資源・省エネルギー対策 |
| | 13 | <input type="checkbox"/> | 海外展開支援 |
| | 14 | <input type="checkbox"/> | その他（ ） |
| オーダーメイドセミナー の目的達成度 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 十分達成できた |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | ある程度達成できた |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | わずかしか達成できなかった |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 達成できなかった |
| 達成度が低いと感じた場合 （3又は4を選択した場合）、 その理由をお聞かせください。 | | | |
| また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。 | | | |
| オーダーメイドセミナー 時の職員の対応 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 満足 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | やや満足 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | やや不満 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 不満 |
| 本サービスでの職員の対応につい て、ご意見・ご要望などございま したら、お聞かせください。 | | | |

ご利用事業（サービス）： **オーダーメイド開発支援**

| | | | |
|--|----|--------------------------|-----------------|
| オーダーメイド開発支援 の目的 【複数選択可】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 品質の証明（成績証明書の取得） |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | 製品の評価 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | トラブルの原因究明 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 製品／製造技術の改良・開発 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> | 製造コストの低減 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> | 取引先への信頼の向上 |
| | 7 | <input type="checkbox"/> | 安全性・品質の向上 |
| | 8 | <input type="checkbox"/> | 人材育成・技術力向上 |
| | 9 | <input type="checkbox"/> | 専門技術情報の収集 |
| | 10 | <input type="checkbox"/> | 新技術分野への進出 |
| | 11 | <input type="checkbox"/> | 販売促進 |
| | 12 | <input type="checkbox"/> | 環境対策（排水・VOC など） |
| | 13 | <input type="checkbox"/> | 省資源・省エネルギー対策 |
| | 14 | <input type="checkbox"/> | 海外展開支援 |
| | 15 | <input type="checkbox"/> | その他（ ） |
| オーダーメイド開発支援 の目的達成度 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 十分達成できた |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | ある程度達成できた |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | わずかしか達成できなかった |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 達成できなかった |
| 達成度が低いと感じた場合 （3 又は 4 を選択した場合）、 その理由をお聞かせください。 | | | |
| また、具体的な成果（派生を含めて、 製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。 | | | |
| オーダーメイド開発支援 時の職員の対応 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 満足 |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | やや満足 |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | やや不満 |
| | 4 | <input type="checkbox"/> | 不満 |
| 本サービスでの職員の対応について、 ご意見・ご要望などございましたら、 お聞かせください。 | | | |

(2) 都産技研ご利用による経済効果に関してお答えください。

(A) 都産技研のご利用により、あなたの会社（組織）が得られたと思われるメリットを、金額換算すると、次のいずれに相当しますか。


| | | | | |
|---|------------------|-------|---|--------------------------|
|  | 0～50万円 | ----- | 1 | <input type="checkbox"/> |
|  | 50万～100万円程度 | ----- | 2 | <input type="checkbox"/> |
|  | 100万～300万円程度 | ----- | 3 | <input type="checkbox"/> |
|  | 300万～500万円程度 | ----- | 4 | <input type="checkbox"/> |
|  | 500万～1,000万円程度 | ----- | 5 | <input type="checkbox"/> |
|  | 1,000万～3,000万円程度 | ----- | 6 | <input type="checkbox"/> |
|  | 3,000万～5,000万円程度 | ----- | 7 | <input type="checkbox"/> |
|  | 5,000万～1億円程度 | ----- | 8 | <input type="checkbox"/> |
|  | 1億円以上 | ----- | 9 | <input type="checkbox"/> |

1億円以上の場合、おおよその金額をご記入ください：_____億円くらい)

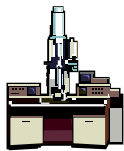
◆ 上記回答の考え方のヒント ◆

金額に換算するのは容易ではないと思われませんが、都産技研を利用されなかった場合と比較して、大まかに推定してください。例えば、次のようなストーリーを推定し、金額を選択してください。

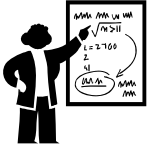
依頼試験等により、海外認証が取得でき、その製品の売上げが製品ライフで〇〇〇万円見込める。




試験機器を利用することができ、自前で設備投資した場合と比べて金額〇〇〇万円のコスト削減ができた。



技術相談や講習会・技術セミナーにより、製品開発や規格対応における職員の知識・スキルが増加し、生産性が向上した結果、〇〇〇万円の売上げ増加につながった。



故障解析により、製品欠陥の真の原因が究明でき、欠陥に起因する損失〇〇〇万円の支出を回避することができた。



(B) 可能であれば、上記ストーリーをご参考に、具体的経済効果理由をご記入ください。

(3) 他機関のご利用に関してお答えください。

(A) 都産技研以外の試験研究機関等を過去一年間で利用されたことはありますか。利用がございましたら、そのサービスの種類についてお答えください。

| 他機関の種類・名称 可能であれば、()内に名称をご記入ください。 | | 利用した事業(サービス) 【複数選択可】 | | | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | | A | B | C | D | E | F | G |
| | | 技術相談 | 依頼試験 | 貸出し 機器の使用、 講習会 | セミナー、 講習会 | 共同開発 | 研究等の委託 | 利用なし |
| 1 | 他県の公設試験研究機関 () | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 独立行政法人・財団法人等の試験機関 () | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 民間の試験研究機関 () | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 大学 () | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5 | その他 () | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

以下は他機関をご利用された方のみご回答ください。

(B) 可能であれば、他機関利用の理由をご記入ください。

| | |
|----------|--|
| 他機関利用の理由 | |
|----------|--|

(C) 都産技研の事業所(本部及び支所)の移転によって、他機関への利用は影響しましたか。

| | | | | | |
|--|---|----------------------------------|---|----------|--------------------------------|
| 都産技研事業所移転による 「他機関利用」の影響 【それぞれ1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> 大いに影響した | ⇒ | 他機関利用の増減 | |
| | | | | ア | <input type="checkbox"/> 増えた |
| | 2 | <input type="checkbox"/> やや影響した | | イ | <input type="checkbox"/> 変わらない |
| | | | | ウ | <input type="checkbox"/> 減った |
| | 3 | <input type="checkbox"/> 影響していない | | | |

4. 興味関心やご要望についてお伺いします。

(1) 今後の利用意向や要望等に関してお答えください。

| | | | |
|---------------------|---|--------------------------|-----------------|
| 今後の利用意向 【1つだけ選択】 | 1 | <input type="checkbox"/> | 積極的に利用したい |
| | 2 | <input type="checkbox"/> | 必要があれば利用したい |
| | 3 | <input type="checkbox"/> | 今のところ今後の利用予定は無い |

| 利用希望サービス【複数選択可】 | |
|-----------------|--|
| 番号 | |
| A1 | <input type="checkbox"/> 技術相談 |
| A2 | <input type="checkbox"/> 依頼試験 |
| A3 | <input type="checkbox"/> 機器利用 |
| A4 | <input type="checkbox"/> セミナー・講習会 |
| A5 | <input type="checkbox"/> その他人材育成 (セミナー・講習会以外) |
| A6 | <input type="checkbox"/> オーダーメイド試験 |
| A7 | <input type="checkbox"/> オーダーメイドセミナー |
| A8 | <input type="checkbox"/> オーダーメイド開発支援 |
| A9 | <input type="checkbox"/> デザイン技術支援 |
| A10 | <input type="checkbox"/> コーディネーター・アドバイザー事業 |
| A11 | <input type="checkbox"/> 実地技術支援(工場訪問) |
| A12 | <input type="checkbox"/> 共同研究 |
| A13 | <input type="checkbox"/> 研究成果発表会 |
| A14 | <input type="checkbox"/> 技術研究会・異業種交流会 |
| A15 | <input type="checkbox"/> 産学交流事業 |
| A16 | <input type="checkbox"/> 製品開発支援ラボ(貸し実験室) |
| A17 | <input type="checkbox"/> その他 |

| 運営面への要望等【複数選択可】 | |
|-----------------|---|
| 番号 | |
| B1 | <input type="checkbox"/> 手続きの簡素化 ※ |
| B2 | <input type="checkbox"/> 利用時間の拡大 |
| B3 | <input type="checkbox"/> 機器の充実 |
| B4 | <input type="checkbox"/> 職員の質向上 |
| B5 | <input type="checkbox"/> 情報発信・情報公開の 充実 |
| B6 | <input type="checkbox"/> 料金の支払いに関して |
| B7 | <input type="checkbox"/> 相談窓口対応に関して |
| B8 | <input type="checkbox"/> その他 |

※ 都産技研本部では、総合支援窓口を設置し、窓口一本化や複数相談への一括対応など、サービス機能の複合化を図っております。



| |
|--|
| 「運営面へのご要望等」に関して、具体的なご意見等ございましたらお書きください |
| (例) B1 ○○○の依頼試験の際の支払い手続きを、もっと簡単にしてほしい。 |
| |

(2) 興味や関心のある事業（サービス）・分野をお答えください。

| 区分 | サービス・分野名 | 興味・関心 【それぞれ1つだけ選択】 | | |
|-------------|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | | A 興味がある | B ないから | C 興味がない |
| 新事業育成研究分野 | 環境・省エネルギー 輸出製品などの環境性能評価支援とともに、省エネルギー製品の設計・開発支援を行います。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | EMC・半導体 高周波や半導体分野の新技术を応用し、競争力のある高付加価値製品の創出を支援します。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | メカトロニクス 最先端のメカトロニクス・ロボット技術を取り入れた製品の開発支援を行います。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | バイオ応用 バイオセンサー、バイオチップの研究開発・実用化を目指す企業を支援します。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 都産技研重点分野 | 海外展開支援（MTEP含む） 皆様の事業の海外展開を支援するために国際規格対応支援の充実を進めています。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 高度分析開発セクター 高機能な設備を集中設置し、機能性材料や環境対応の製品開発を支援するとともに、製品の不具合原因の解析を行います。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | システムデザインセクター デザインセンターの機能と設備を強化し、システムデザインセクターとして、売れるモノづくりを支援します。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 実証試験セクター 温湿度、振動、腐食等の評価試験について一貫して、相談、依頼試験、機器利用ができ、安全で信頼性の高い製品開発を支援します。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ※ ブランド試験 | 音響試験 残響室、結合残響室、無響室、半無響室を備え、より高品質な技術支援（音響分析等）ができます。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 照明試験 LED 照明機器等の新規規格対応の性能評価試験、色彩測定、配光測定ができます。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 高電圧試験 避雷器等の高電圧試験がコンピュータ制御により高い精度で実施できます。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 非破壊透視試験 X線透過装置により、試験品の中まで透過する非破壊検査ができます。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ガラス技術 高性能なガラスの開発支援及びガラスに対する特徴ある試験（破損事故解析、表面応力測定など）ができます。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 環境防カビ試験 木質材料、プラスチック及び皮革製品等各種工業製品又は工業材料のカビに対する抵抗性を調べる試験ができます。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 放射線測定 放射線計測では、サーベイメータを利用した各種放射線の計測、半導体検出器を用いた放射線核種の精密測定等を、放射線照射では、ガンマ線や電子線の照射等ができます。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

登録番号・24（本）24

平成24年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

平成25年 4月発行

発 行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10
TEL：03-5530-2111（代表）
FAX：03-5530-2765
URL <http://www.iri-tokyo.jp/>

